5・28（青学集会）を突破口に

プロ学同が全国動員を決定

6月闘争に総力を

70年安保闘争は、4・28の政治的進撃路を11月佐藤訪米阻止に向け、政治闘争を軸とした全国的、全人民的政治戦線を徐々に強大なうねりとして現出せんとしている。それは、新左翼の反帝統一戦線として、プロレタリア統一戦線は、その内実に強固な反帝諸ブロックの重層的結集を底部に進行させている。プロレタリア権力の新たな全国的な深みと広さを包括するとなくしては一歩も前進しないだろう。

4・28闘争は、戦闘的左派ブロックの実力闘争を媒介として、全人民の70年戦線への結集と吸収力を増大させ、民同支配下の労働者階級の流動化と左傾化を促進させた。労働者反戦派の階級的進撃は資本、民同の切り崩しに抗して4・20には職場反戦の各県反戦連合として、下から自立的に形成・結集させ、セクト分断化・民同再編をのり越える新たな創意・自立・統一の気運を助長させ、愛知訪米・ASPAC闘争においても、その進撃路を定着させようとしている。

今日、青年労働者の民同労働運動総体を左へ旋回させようとする志向、自立的プロレタリア革命派の台頭は、春闘においても、職場実力闘争（現局面では山ネコスト）を、民間単産職場において、国労動労、全逓など国独資の矛盾の集中する分野において、拡大・強化している。国労の反合理化闘争は70年反安保職場実力闘争を用意する意識性を徐々に獲得しつつあるし、また70年政治過程の11月訪米阻止闘争においては、少くとも労働者反戦派の実力闘争は決定的な力となろう。賃金買取り、右傾化と体制統合化を突破する新たな青年労働者の階級的前進は、この間の街頭政治闘争への積極的動員とベトナム反戦闘争以降の新たなプロレタリア国際主義の思想性に裏打ちされた階級的、プロレタリア的質の高揚の中に存在している。労働者反戦派の階級的前進の前提は、このような反帝プロレタリア国際主義の意識性を徹底的に地域・全国において展開することにある。

反帝統一戦線のプロレタリア的一翼を形成しつつある学生運動も、全国的にプロレタリア的戦術＝大学占拠・労学提携の思想と実践を媒介に、全共闘運動に結集する学生の意識をますますプロレタリア革命派と結実させて（68年以降の[illegible]教育学園闘争は学内の個別的改良要求や、一大学の自己完結的な闘いにとどまり得ない、根深い社会政治闘争として全国的波及性と運動性を強化させその自立的・長期的闘いの中で、反安保政治闘争と底部で連結する意識性を獲得しつつある。それは70年政治闘争を全人民的・階層的重層性を保証する闘いへと向しているのである。

全国全共闘の共通の意識性となりつつある既存の全員加盟性自治会を軸とした、自然発生的団結をのり越え、闘う階級的自立性を獲